京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年 紀元二千五百七十一年
本紙定價 一枚金二錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢 ▲特別廣告 五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人 高木久一郎
印刷人 松久禮太郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六三番
仁川宮町三丁目 仁川支局 電話二一一番

●東京たより

●華族富豪より捐金を醵集し、之れを御下賜金に加へて、聖旨の在る所を翼賛し奉ること、救濟資金御下賜の趣旨に副ひ奉るに最も至當なるを申上候、其に就て我國の華族富豪の社會公共の爲に資財を抛つて吝なるは實に國家の大不幸に有之候。

●我國と歐米諸國とは富の度に於て大なる逕庭のある勿論に候へば、歐米の富豪と我國の富豪とをして同じかれとは申さず候、然れど歐米の富豪が、公共事業慈善事業に向つて贈投する金額の巨大と其義俠の精神とは取て以て好個の範となすべきものに候。

●吾人は兹に昨年中米國に於ける富豪の慈善及び公共事業に投資したる四五顯著の例を擧け、我國富豪の之れに對する感想を聞かまほしく候。

●昨年一箇年米國に於て富豪の寄捐金總額は一億六千三百十九萬七千百二十六弗の巨額に達し候。其内譯を見れば教育事業に寄附したるもの七千六百萬六千四百七十八弗、宗教事業に寄贈せしもの三千零四十七萬五千七百九十八弗、一般慈善事業に寄贈せしもの彼カーネギー翁の平和基金を合せて五千六百七十一万四千八百五十弗と注せらる我國庫の歳入計一年以上に當る巨額の資財は米國富豪より昨年一歳間に慈善公共事業に義捐せられたり、豈盛んなる事に候はずや。

●更に進んで、吾人は其義捐者たる富豪が如何に此等公共慈善事業の爲めに盡すに勇なるかに就て其二三を報道せんに、米國鐵道路島の富豪ダビット、ランキン氏は昨年自巳の資産全部三百萬弗を擧げて學校に寄附し七十五歳の老軀をば八百屋の二階に運びて貧民生活に甘んじ居るは眞に快男子と謂ふべく又紐育の某富豪は匿名を以て其資産五百萬弗の一半を學校の經濟料基金に寄附いたし候、此富豪には一人の子あるのみ之に財產全部を讓與するは過多なりとの趣旨に依り斯くは資金の半額を讓與するは過多なりとして斯くは資金を學校に寄附致したるものに候、かゝる高潔にして偉大の志を抱くもの、我國の富豪中能く之れありとするか、夢になりとも其眞似をさせたきものに候。

草花栽培注意（三）

◎肥料

△油粕● 肥料中にて惡臭もなく至極取り扱も便利にして草花を培養するに就ては最も完全なる肥料である、用法は之れを粉末にして篩にかけ根元二三寸の所に極淺く埋めて置くのと粉にした油粕一升を水一斗に浸して七日過つてから其の上澄を七八倍の水に薄めて使用する方とである必ず奏効顯著である

△魚肥● 魚の乾しれるものを粉にして用ゆるのと水に浸して用ゆるのと油粕同樣に二法あるが窒素分を含むことが多いから補肥として燐酸肥料を少し混ずるの必要がある

●水力電氣の調査

（朝）

朝鮮總督府にては來年度より水力電氣の調査を行ふべく其調査費として來年度分三萬圓の豫算を編成せるが斯かる調査は非常に複雜にして困難なるより一朝一夕に爲し得べきものに非ず先づ爲めに朝鮮全道の雨量調査の必要あり此の調査のみにても三年の星霜を要する上に更に流量を調査する必要あり此れも亦二三年の日月を要するを以て落差も測量せざるべからざるを以て調査期間は五箇年位を要すべしと當局者は語れり

外事一束

▲英國● 上院改革法案二百四十三對三百六十八の多數を以て二讀會を通過。
▲議場● は非常に活氣を帶び自由黨及統一黨領袖は互に激烈の論戰をなす。
▲反對● 黨首領バルフォーア氏は政府は詐謀以て憲法を根本的に破壞すと。
▲非難● し一院にて立法權を壟斷するは國民の承服せざる所なりと痛論す。
▲首相● アスキス氏は之を駁し現在憲法により上院に向つて進歩主義たる立法を求むるは不可能なり統一黨は上院の無能を歡迎する者也と喝破。
▲米國● 加奈陀互惠條約案は否決せらる臨時議會は多分三月に召集の筈也。
▲朝鮮● に於る英國監督僧正ターナー氏遺言書中二千四百磅を教會に寄贈。
▲使途● 新寄附金は朝鮮教會事業發展の資に使用すと適に外人の熱誠可感。
▲清國● 政府日露協約締結後蒙古の危險を慮り幵が開發策を講ず覺醒可嘉。
▲鼠疫● 研究會近く奉天に開催英米獨佛各國皆代表者を出し日露人撰未定。
▲偸殺● 在留露人宅に大爭鬪あり鎭壓の爲出張の警官二名暴漢に殺害さる。
▲暴漢● 二名浴場に匿れ警官包圍逐に無殘の最後を遂ぐ近來英都慘劇多し。
▲蹶起● 在東京支那留學生消極の强國に壓せらるを慨嘆救國意見を發表す。
▲曰く● 露伊犁を侵し英片馬を占む佛國雲南を要求すこれ全國滅亡の端と。

文苑

◎淡雪　ふさ子

淡雪の降るかと見ればはや消ゆる
心の弱き我にさも似る
枯れ草の下にも出し草の芽を
みれば獸の後のたのしさ
都人春の詞は殘さずに
冬の風にもまさる冒の葉
はらからの齡數へてほゝ笑みぬ
我とる年の數は忘れて
家近く鋭の音しぬ誰ならん
はたとやみけり木啄鳥の音

◎老杉　ふさ子

小暗も深き山寺の
鐘つき堂の傍に
御注繩を引れる一もとの
空に聳ゆる杉のあり
高き梢は白雲の
かくして見せぬ雄々しさよ」
花をつゝめる八重霞
里のかまどは賑いて
ひまなく烟たちのぼる
春の色香を見下して
晴れやらぬ夜の薄月に
地の秘を語るかの杉は」
白露しげき軒の草
忍ぶとすれどなく虫の
聲もうら枯れ凪なきに
ヒラリヒラリと散る梧桐
秋の錦と色に出し
木々の紅葉にはかなくも
無常と響く鐘の音
杉はこととふ天の秘を」

◎新刊紹介

△東洋時報（百四十九號） 白鳥文學博士の「朝鮮半島の開化」坂下龜太郎氏の「朝鮮漁業の現在及將來」中村文學博士の「朝鮮百話」等朝鮮に關係の讀物多し（一冊五十錢東京市麴町區内山下町東洋協會）

△實業之世界（三月號） 實業家及び青年者の爲めに有益趣味の記事を以て充さる（一冊十一錢東京市芝區愛宕町實業之世界社）

●朝鮮（三月號） 半島に於て鋭利なる論鋒を以て總督政治を論するを特色となせる雜誌朝鮮三月號出づ旭邦子の「友に與へて朝鮮の近事を語る」例により莊重嚴密の[illegible]の感あらしむ小川[illegible]を探る勿れ古谷氏の[illegible]大内家の說傳に就て[illegible]外研究雜纂の各欄を以て充さる（一冊二十五錢京城朝鮮雜誌社）

召使れ初（二）の六

墨法師



助入は嬉し涙はらく〜と「好くいふた、さういふ心と知らず例の早合點、怨みに思ふたは誤ぢやつたよ」と詞を切つて「ぢやがの、武家奉公をするといふがの、そなた今が娘盛りぢや、貧うは暮しても、持つべきは子寶、そなたの心がけを見込むとあつて、れ歷々衆から縁組の申し入れもある、女は庭に咲く花と同樣、盛を過ぎては賣れぬものぢや、此邊工夫せねばなるまいぞ」といふ詞に慈悲は罩りぬ

「れ詞ではござりますが、私一生嫁入はいたしませぬ」といふ眼の内に、動かぬ決心の色は見えき

「はてな、一生嫁入をせぬとはな、私は女の道詳しくも知らぬが女は三界に家なしといふて何時の代も一人歩きのならぬものぢや、花に譬へていふと、恰どあの藤の花だ、まづあれを見るやうなもの、いかに美しう咲いても、いかに涼しう繁つても、獨立はならいで松杉に身を寄する、身を寄せてこそ縁の色も世に榮れ、そうでなくば一生涯地の下御ふて露に花を濕さねばならぬ、と同樣、頼みある良人に身を任せてこそ女の光も見ゆるのぢや、それほどの辨ないうなたでもないと、今日に限つて暇を與れの、嫁入をせぬのと、遂にもないことをいふ、私はうれの合點が行かぬ、親子にて遠慮は要らぬ、思ふ仔細あれば具に云や、なくばれ歷々衆縁組の申入あるを幸ひ、身を固むる用意しては何うぢや、女の出世は、好い良人を持ち、好い子を生んで、家の名を擧げるが、好く思案しや、大事なことぢや」

「れ詞ではござりまするが、藤も一本、松も一本、根を固う心に持てば、女とて獨立のならぬことはあるまいと心得ます、若しれ父様の仰せの樣に、女一生良人の蔭に寄らねばならぬものならば昔から名ある婦人たちは何うでござりませうな、同じ藤の花にもせ、私、日陰に咲くは望ましうもござりませぬ」

「すると何か、れ前は何歳までも一本立で天晴名を擧げるといふか」

「私、望が適へたうござります」

「諾し、その覺悟に異が見ゆる、異のある覺悟は、强い弓にかけた矢も同然思ふ的を射拔くものぢや、さほど心定めた上は、もう止めぬ、何うあつても止めぬ、そなた思ふ通りに爲」と云ひ切つて、助藏に膝を向け「れ寮の覺悟は今聞く通りぢや、そなたは兄、男は男の覺悟なうてはならぬそれを聞かう、何とある」

助藏は無言なりき、兩手を膝に、頭[illegible]父と妹との隱對をつく〜[illegible]がましき無言なりき、されば今[illegible]の身の覺悟はと問ひかけられ[illegible]答ふる詞なく、俯は默然とし居たりき[illegible]急き込み「これよ、そなた返[illegible]あるよ、兄と生れて妹に退を取ることもあるまい、覺悟は何うぢや、何として先祖の名を擧ぐる「私」と、助藏は漸く口を開いて「私は、何時までもれ父様のお膝下で孝行がいたしたうござります」

「何といふ、今まで通り五人扶持に滿足して何時までも親の側を離れぬといふか」

「千石二千石の高禄戴くばかりが孝行とは申されませぬ、立身出世をするばかりが、武士の道ではござりませぬ、假令貧しう暮しても、天理人道に背くことなく、忠孝兩道を全ふするが、子たるものゝ本分かと心得ます」と思ひ切つて云ひ出でぬ



東京電報（七日）

▲北韓興業會社 北韓興業株式會社發起人會昨六日大阪に於て開會右近權右衛門氏其他知名の紳商多數出席し協議の結果資本金を一百萬圓と決定したり

▲中樞院顧問新任 東洋拓殖會社副總裁男爵閔泳綺氏は朝鮮總督府中樞院顧問仰付けられたり

▲上院と工場法案 六日貴族院定例會議各大臣出席此の日の大問題たる工場法案及鹽業法案は總に委員附託となれり

▲政友會と市政問題 六日午後一時より政友會本部に於て市制並に町村制改正法律案に就き政務調査會分科委員會並に該問題特別委員聯合會を開き引續き午後四時より政務調査委員會聯合會を開き兩日案に對する黨の意見を決定したり

▲參謀演習決定 目下參謀本部第三部に於て計畫中なる參謀旅行演習は愈々來る十四日より廿七日迄二週間中國附近に於て擧行する事に決定し大澤少將總裁の下に行はるゝ筈にて統監部最初の集合地は播州加古川なりと

▲國体擁護會活動 大日本國体擁護會にては其後南北朝正閏問題に關し引續き盡力中なるが同問題に對し去月廿七日附文部省よりの通牒は其實一枝葉の事のみ未だ以て根本的解決を與ふる事能はずとも更に意見書を上下兩院議員に配布したり

紐育電報（七日）

▲東洋人と選擧權 米國加州にては東洋人殊に支那人の選擧權に關し今後縱令合衆國に於て誕生したるものと雖若し其の父にして選擧權なきものに對しては一切選擧權を與へざる方針なりと

雜報

●朝鮮問題と議會 一昨六日の衆議院に於て間島に於ける領事裁判に關する法律案委員會を開き石井外務次官、幣原政府委員及兒玉會計局長出席質問に答へ決議に移らず散會せり又商法改正委員會に於て總督の出席を求め長島、關、花井の各議員より商法民法其他諸法律の朝鮮に施行の程度及び將來に於ける之れ等母國法律と各殖民地に施行すべき法律の施行又は法制に關する政府の所見に關し種々なる質問あり寺內總督及兒玉會計局長より一々答辯を與へたる旨一昨六日午後九時兒玉秘書官より山縣政務總監に公電ありたり

市區改正稟申に對し

京城民會の決議せる市區改正問題は既報の如く古城民長より京畿道廳を經て總督へ稟申せしが今此稟申に接したる同廳當局の談を聞くに左の如し

▲檜垣長官曰く 數日來微恙の爲め公務を視る事少く實は新聞紙の報道に依り始めて道廳稟申に接せるを知れる位なり隨て之に對し未だ何等の意見をも有せず併し兎に角京城は半島唯一の大都會なれば相當其面目を保たしむるは最も緊要の事たるべきを以て充分調査攻究を爲し然る後予の意見を開陳すべし思ふに現在の狀態と雖も東西南北の各門に通ずる道路は整然たる規律を保ち又排水溝渠の如きも稍々見るべきもの尠からず故に之を基礎として改正を營めば必ずしも至難事に非ざるべき乎唯だ市區改正の事は多額の經費を要するを以て當局者として先づ此點にも考慮を拂はざるべからず

▲中大路內務部長曰 該稟申書は尙ほ本廳に留保し主任官吏に命じて調査中に屬す而して調査の主要點を言へば則ち該稟申は果して適切のものなりや否や又總督府へ進達するに方り意見を付するの要なきや否やに在り勿論現在の市區に一大改正を爲すの要あるは一般的輿論と見るべく故に當局者に於ても折角の輿論を重んじ愼重に研究を遂ぐる筈なり蓋し其調査と雖も漫りに多數の日子を費すを要せざるを以て總督府へ進達するは茲數日內に在るべし

日本人と支那人

波多野氏談話の一節

世人は漫然支那人の商賈的手腕を激稱して吾等日本人は遙かに彼に一籌を輸せりと反問す然らば彼の優り吾の劣れる點如何答へて曰く信用を重んずる點に於て又其經營の巧妙なる點に於てなると然れども斯の如きは其一端を捉へて全豹を妄斷するの類なり思ふに個人的方面より支那人を觀察せんか或は幾多の長所あらん例へば勤儉身を節する上に於て又大膽に商品を仕込み乾坤一擲の快擧を敢へてするが如き點に於て說者の言夫れ或は然るものあらんも是等微細の長所は未だ以て彼我の優劣を斷ずるに足らざるなり予を以て之を許すれば彼れ支那人は吾等日本人に比し其文明的行動に於て遠く及ばざるを見る則ち事業の經營に方り稠密の**調査**を遂げ確實なる**統計**の基礎の上に策を案ずるが如きは到底支那人には見るべからざるなり所謂智識の應用と秩序ある經營とは吾等**日本人の特色**にして大に之れを**誇るに足る**べし吾が樞要の都市に數千の淸商介在し殺意鎬鎬を爭ふあるも未だ嘗て異常の成功を收めたるものあるを見ず偶々**吳錦堂**の如きを算するも彼は鐘紡株の奇利に據りて其大を成せるに過ぎず**麥少彭**の末路は豈に悲慘の極みならずや而して又信用を重んずる點に於て之を觀るも若し吾等日本人にして信用絕無なりとせば焉んぞ能く株式會社の如き滔々其成立を望むべけん我が帝國が現時雄を世界に稱し政治上に於て優越なる地步を占むるに到れる所以のものは一に是れ**株式會社成功の賜物**たらずんば則ち之を國家的發展の上より斷ずれば共同一團の經營は個人的行動の比に非ず此點に於て淸國の現狀彼が如き所以を看取せば思半ばに過ぐるものあるべきなり

新政と舊民（二）

於亞細亞協會 小松綠氏述

神功皇后の三韓征伐は顯著なる事實にして疑ひを容るゝの餘地なく殊に是より先つこと約二百年の以前に垂仁天皇は大伽羅國の急を救ふて其の國號を任那と改め日本府を設け太守を置きたりと云へば當時日本の勢力が朝鮮半島の大部分に及べることは論を俟たざる所なり朝鮮の歷史は垂仁天皇及神功皇后の事蹟は勿論任那府設置の事實に付何等の記載なけれども當時の事蹟を記述せる支那の歷史に依れば之を立證するに充分なりとす

支那最古の歷史にして禹の時代に編成せられたる山海經には蓋國は燕の南倭の北に在りと云へり而して燕は今の北直隷、盛京兩省より遼河に及べる支那の一國なるが故に日本の領土は當時の蓋國に隣りせる南方の陸地に及びたること明なり又魏志及後漢書には韓は東西海を以て限り南は倭に接すとあり是又日本の領土が朝鮮の陸地に及びたる一證と見るべし否らざれば南は倭に接すと言はずして東西と同じく海を以て限れりと云ふべき筈なり應神天皇及雄略天皇の時代に支那の與朝に使者を遣はされたるは日本書紀の記載する所なるが支那の宋書には日本使者の提示せる國書の一に倭、百濟、新羅、任那、伽羅、秦韓、慕韓七國軍事安東大將軍倭國王と署名せることを記載し且倭國は海を越へて北方の諸國を征服すること九十五國に及べりとあり又盛京省輯安縣通溝に於て發掘せられたる高勾麗好太王碑には倭辛卯の年を以て海を渡り百殘○○（缺字）新羅を敗り以て臣民と爲すと云ひ又倭賊退く追ふて任那、加羅に至ると云へり好太王は神功皇后と時代を同ふせるが故に此の碑文は眞正のものと認むるを得べく右等の記錄は孰れも日本の歷史の眞實なることを證して餘りあり要するに朝鮮半島少なくとも其の南方の大部分が日本の統治に歸したるは疑ふべくもあらず唯、往昔海運陸行の便宜乏しかりしが爲め日鮮の關係は終始一貫する能はずして年所を經るに從ひ遂に相疎隔するに至れるのみ畢竟今日の日鮮併合は異人種より成れる兩國が初めて相合したるに非ずして古來同人種の一家たりし者の暫く相離れたる後ち今再び常體に復歸したるに過ぎずと謂ふべきなり

株主制限撤廢に就て

藤原財務課長談

朝鮮人側各銀行が其株主制限を撤廢し內地人に之を開放すべしとは既報の如くなるが今茲に度支部財務課長藤原正文氏の語る處によれば該問題は嘗て併合の際**舊韓政府の命令を其儘存置するは如何**かとの議論起り一たび研究を費したる事ありたるに結局併合の結果に基く當然の理論なりと雖も今俄かに日本人の株主たるを許さば彼等の感情如何又之が爲めに經濟的疑惧の念を起さしむるなきかを懸念し遂に中止したり元來生活程度を異にし更に經濟上の位置に於て非常の懸隔ある今日漫りに彼我の混合を計るは事實不可能の場合あるのみならず又事情許し難きものなり而して該**制限**は別に**定款の規定**に依れるものに**非**ずして唯だ**監督官憲の發せる命令**を以て**覊束**せるに過ぎず故に**理論**として斯くなかるべからざる以上**早晚撤廢**の期あるべしと信ず云々

●定例長官會議 七日午前十一時三十分より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め倉富、木內、宇佐美の各部長官、俵副總裁、小松總務部、鈴木度支部、小城鐵道局の各長官代理、山形警務總長代理、池田通信局長列席司法官會議國際防疫會議其他政務の打合を爲し午後一時散會したり

●第二回防疫會議 七日午後一時より總督府會議室に於て第二回防疫會議開會關係各部長官及藤田軍醫監、鈴木司稅局長山根囑託小城技師岡本技師の各評議委員並に山形警務總長代理中野警務官列席來る四月奉天に開會の國際防疫會議に提出すべき問題協定其他に關し協議する處ありたり

●萬國防疫會列席 來四月五日奉天に於て開催すべき萬國防疫會議には朝鮮よりも二名の委員出席すべき筈

●恩賜金の頒給 京畿道に於ける兩班儒生耆齒、孝子節婦表旌、鰥寡孤獨救恤等に關する恩賜金は退回それ〲本人に交附頒給する事となり道廳の一戶、太田、守屋、神尾の各書記外一名は本日出發各其擔任地に向け出張せしが恩賜現金は郡衙に於て頒給する筈なり尙は各書記は警務部より憲兵上等兵一名を附隨せしめ旅中の危險を保護せり

●朝鮮電氣事業 朝鮮の電氣事業にして既に經營されつゝあるは京城、仁川及釜山の三箇所にして目下工事中なるは馬山（日韓瓦斯會社にて計畫）及鎭南浦の二箇所なり其他のものにて認可濟の會社は平壤、大田、大邱の三箇所にて羅南、元山、木浦、群山等は目下認可の申請中なりと云ふ

●昨年の漁獲高 其筋の調査に係る朝鮮近海における昨年中の漁獲高を聞くに日人側出漁船數三千七百五十五隻の同從漁員一萬五千七百四十九人にして之れが漁獲高、見積價額三百七萬六千八百八十四なるが鮮人側出漁船數一万二千五百六十七隻同從漁者七万五千〇六十三人にして之れが漁獲高見積價額三百六十九萬三百圓にして之れを前年の夫れに比すれば其の收獲高に於て少しく減少せりと云ふ

●鴨綠江の解氷期 鴨綠江の下流龍岩浦宣川の一部は昨今の暖氣にて漸く解氷し來る十三四日頃より氷上の渡行は危險となるべく本月二十一二日頃より船舶の航行を開始するに至るべしと云ふ

●地方民の美擧 忠淸北道靑川郡一部の兩班儒生にして尙齒の恩典に浴せし重立つ者等發起となり總督府の仁政に對し新附民の治績を擧ぐるが爲め賭博を嚴禁し是れに違犯する者は兩班交際を絕ち或は里洞を退去せしむべき規約を結び其實行を獎勵し居るよし

●高陽郡貯金組合 高陽郡守崔恒錫、郡書記以下分遣所員等發起となり高陽貯金組合なるを組織し貯金實行を期する事となり郡內の各面長は一般に模範を示す爲め一箇月金二十錢宛を貯蓄し其他は分に應し去月末第一回の預入れを爲したるよし尙は組合長は崔郡守幹事は郡書記宮阪重郎同丙徐晥二氏なりと獎勵すべき美事といふ可し

●鎭南浦港の解氷 同港附近の流氷は客月下旬以來の暖氣に伴ひ漸次減少し近來は江上一面殆ど皆無の狀態にして兩沿岸干潟地に停滯せる氷塊も本月三日大沙にて全部溶解し一兩日前より漁船の出入帆船の兼二浦通航を見るに至れり上流兼二浦及下流避島水道附近に浮流せるものも極めて稀薄且少量に過ぎざれば外航船は十日頃より入港するものある豫定なりと

●滿洲の鼠疫患者 奉天防疫本部より左の電報あり

管內新患なし管外新患奉天三四（內女二）鐵嶺一、長春一七（內女四）累計四五九三、管內外累計四、八二〇

●航路標識の告示 全羅北道群山より江景に至る錦江航路並に同道萬頃江及東津江の航路を示す爲立標及び導標竝水標を建設せし旨二日付總督府より告示せらる

●連江鐵道工事 三南鐵道第一期工事大田江景間の內第三區なる連山江景間十三哩の工事請負入札は去月二十五日大田建設所務所にて擧行され五万七千七百八十圓にて志岐組に落札九月末迄に竣工の豫定なりと

●商工調査進捗 農商工部に於て昨年度より着手せる朝鮮全國の商工調査は昨年度の經費一萬餘圓を以て南鮮の一部釜山木浦並に元山等の方面を終了したるが本年は八十圓の經費にて殘部の調査を爲す筈なりと云ふ

京城民團民會

七日午後三時より京城民會を續開す、前回に引續き稅率改正案の第三讀會を開き次で討論の結果大多數を以て委員會修正案の通り可決確定せしめ更に稅則改正を付議し委員長の報告あり而して之に對する質問應答あり其詳細は次號に報道すべし

●商議地區擴張交涉 七日午後六時より京城商業會議所樓上に於て彼の地區擴張問題に關し龍山側代表者と會議所交涉委員と正式の會見をなせり

二月中移出牛

客月中釜山に於ける移出牛檢疫所に於て檢疫したる生牛は入所八十六頭解放百九十六頭にして現在三十六頭なるが解放せし分は凡て移出に係るものにて猶一月以來の移出累計は四百四十一頭なり

●民團納稅督促 京城民團にては今や年度替りに際したるを以て各種稅金の滯納者に對して納稅を督促しつゝあるが龍山に於ける汚物稅の如き殆ど全部滯納し居る由なるが民團役所にては年度更始の際なれば嚴重に督促すべしと云ふ

●漢江航行開始 漸次寒暖に向ふと共に漢江及び臨津江は何れも解氷し昨今に至りては殆んど流氷の影も見ざるに至り本月一日より阿井浦より京城、汶山及び高浪浦に通ずる航路は全く復舊されたりと

●巡視中の地方局長 地方巡視の途にある小原地方局長は去四日全羅北道全州に到着せしに全州有力の兩班儒生等は多數郊外まで出迎へ熱心に歡迎の意を表し各々意見を開陳せりと

●森代議士入京 代議士森肇氏は此の程入京三日月旅館に投宿したり

●水谷大佐の入京 平壤礦業所次長海軍機關大佐水谷千萬吉氏は昨夜入京浦尾旅館に投宿したり

●氏野判事の入京 光州地方裁判所長氏野德太郎氏は六日入京山本旅館に投宿したりと

●波多野氏仁川行 入京中の三井合名會社理事波多野承五郎氏は八日當地出發仁川に向ひ同地視察の上群山、木浦方面を巡視なすといふ

●村田分隊長巡視 村田第二分隊長は七日より約一週間の豫定を以て高陽、坡州地方を巡視す

●全北の兩班語學會 全羅北道に於ては兼て兩班語學會なるを組織し居り去三日其第四回を開會したるに會員六十名中事故の爲め欠席せしは十二名にして當日は折柄巡視中の京城高等學校學監臨席し一場の講話を試みそれより李道長官警務部長の訓諭演說あり右終つて例會を開始し頗る盛大を以て閉會

●仁川民長の寄附 岩崎仁川民長は一昨六日仁川俱樂部へ金若干圓寄附す

●公州大田の電話 忠淸南道公州及び大田の兩地間に來る十日より電話業務開始せらる

●韓銀貨幣發行高週報 韓國銀行券總額貨幣發行平均高自二月廿六日至三月四日如左

一八、八二一、六〇

內

正貨準備發行平均高 五七九、二六

保證準備發行平均高 一八、二五〇、三三

韓國銀行券發行高減少の理由は貨幣整理立替金償還の爲めなりと

公人私人

▲鮎川克己氏（三南新報社長）五日大田に向ふ

▲谷川行三氏（平北慈城郵便局長）五日新義州へ

▲水野吉太郎氏（辯護士）五日太田へ

▲森肇氏（衆議院議員）三日月旅館に投宿

▲秀島浩一氏（辯護士）天眞樓に投宿

▲山田鎌太郎氏（海州憲兵隊附陸軍一等主計）六日新義州へ

▲中山兵馬氏（三井安東縣出張所長）六日平壤へ

▲中村光吉氏（韓銀平壤支店長）六日平壤へ

▲松村政記氏（光州監獄署長）六日山本旅館に投宿

▲氏野德太郎氏（光州地方裁判所判事）六日山本旅館に投宿

▲御原八十吉氏（光州監獄第一課長）同

▲水谷千萬吉氏（海軍機關大佐）六日浦尾に投宿

▲宮家正義氏（開城參政課技術部長）原金に投宿

▲京城手形交換高

三月七日 金高 二三三、〇七四、九六 枚數 八一

▲治外法權▼

英國新皇帝の戴冠式へ我邦から御參列になるのは宮樣であるのである、而かも我宮樣には東鄕乃木の二名將を隨へて御參列になるのである▲而るに米國からの參列員は何人かと云ふに外報傳ふところによればヘルンとか云ふ一鐵道技師であるツウである、鐵道技師と宮樣、同じ資格の參列員で同じ式に臨まるゝと云へば吾人日本人は何だか侮辱された樣な感じがする、しかも之れ國情の然らしむる處、我から彼に向かつて何と抗議を出すことも出來ない事であるのである▲泰宮聰子內親王殿下が東久邇宮稔彥王殿下の御許へ來年御降嫁に相成るツウだ、右に付き長崎調度局長は近々倫敦及び巴里に行つて御婚儀品萬端を調へるツウだ▲アー前に內親王御二方の御降嫁の際にも御婚儀品は倫敦巴里で調へられた、而して今亦泰宮殿下の御降嫁に際し此事ある、敢て不思議ではないが吾人帝國民の大に注意すべきことであるのである▲曾て阪谷男大聲疾呼して曰く我日本には兵器の獨立なしと、兵器の獨立、是は男の言へるが如く我國には實際無いのである、而かも斯き者は兵器の獨立のみならず、財政の獨立勿論無く、否な前記の如く貴顯御用の御婚儀品の獨立さい無へのである▲我國人口を開けば常に我の偉らきことをのみ云ふのである、而かも事實は貴顯の御婚儀品さへ外國の供給に俟たねばならぬと云ふ始末になつて居るのである▲嗚呼兵器の獨立、財政の獨立斯は當分迚も得られツウにもないのである、而らばセメテは貴顯御婚儀品の獨立だけでも得たいものであるのである▲またサキの永い商業會議所議員の改選に今から選擧委任狀の蒐集に勉めて居る者があるとは怪しからぬ事だ、思ふに斯る徒があればこそ會議所が常に世間から馬鹿にされるのであるのだ▲今度新たに電氣事業取締規則が出た爲に自働電頭事業に從事する小宮李王職次長、鶴尾鐵道技師、兒玉秘書官等は大に恐慌を起したツウだ、而して右三氏恐慌の理由は新取締規則に因り今後脫帽にて往來へ出ることを禁じられたからだツウだ。

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 六日の分

乘車客 四六七 下車客 五九〇

乘車賃金 七五六、二五

▲龍山驛乘降客 六日の分

乘車客 一三八 下車客 一四三

乘車賃金 二一八、四一

△筑後川丸 八日大阪より入港

△神代丸 八日大阪より入港

△香雄丸 八日唐津より入港

▲大阪株式（四月限）

▲神戶寄（前場）三八、九〇（後場）三八、八〇

▲大阪同 出來○中

▲電燈同 一〇九、〇〇

▲東京同 一六六、〇〇（延）

▲大阪期米

●六日前場三月止十五圓九十五錢▲四月止八十八錢▲五月止十六圓三錢▲四月寄八十八錢▲五月寄九十七錢

▲仁川米豆取引

●六日後場三月寄十一圓五十錢▲最高

●七日前場三月寄十一圓六十錢▲最高 最低▲止六十錢▲四月出來不申▲五月寄十一圓七十二錢▲最高九十二錢▲最低七十二錢▲止九十錢

ドロ〱の京城



天のはらふさけ見れば日本晴れ、ソヨ〱と春風が顔を撫でゝ行く風も冷たくない、優しい朝日を浴びた線に鶯の目白鳥がチヽと囀る、飯には少し間があると云ふ、テクラ〱と泥を踏む下駄の音、甚だ不快だが、此れは我々が住む片田舎だから往く〱從つて〱事ばあるまじき前途を想握して太平町の大通りにノタクリ出づ、當て事と越中褌は前方から外れると云ふが實にや古人我れを欺かず泥海は西小門通りより更に深い、其の中を遊戯相の三番車に七歳斗りの男の兒が把つて行くのを五六斗りの男の子が荒縄結び付けて、ヤッショ〱と曳く、自轉車の綱引奇抜なら事や。

道ひに從つて鐘路は益々不良い、南大門通りを北に朝市場入口に到る、會つてありたる道路は泥の海、實る人悉く其の泥の海を泳ぎて回る、南大門市場前の罠緣に胴膝を浸めた人の生命辛々辻本商店前を右折して漸く花の都の異共中商家櫛比せる南大門の加ふに人の往來激しき道路が一夜にして泥の海となるべしとは、へへ大庭府尹も御存じあるまい

朝の南大門驛

淺瀬へ泳ぎ着きて電車を助け船へ

義仲の粟津ヶ原

プラットホームに入る、黒の中山帽にオーバーコートしたる今村南部署長を見る、彼の警官や群集は刑事の爲めと知らる。二本部達の一隊は土地調査局書記官佐々木藤太郎氏を見送りの夫人等と知らる、艶容花の如き夫人あり、此の夫人モシ佐々木氏の夫れならば幾夜官ねん旅寝の夢ぞ驚がしき事なるべし、俵副總裁も罪なことをするもの哉、との誹りは免かるべし

三等室の窓下に集へる五八伴れ立つ婦人あり、中の新地邊の賣笑婦、三の桐の三つ紋附けた友禅の長襦袢着たるが、庇髪の、昨宵は口脱にて眼に入る日光を避けがてに立つた姿の媚かしきは官製朝日の煙を輪に吹く。

警官輕く響いて列車は緩かにプラットホームを放れた、人は雪崩を打つて揺外に散じた。無賃乗車の特權を享有せる警官の其の數八。

樓主の娼妓虐待 詳報

▽何方も何方だ

新町遊廓日曜樓主が娼妓春海事三上あさ(二)を甚う殿打負傷せしめたる顛末を記せんに日曜樓は昨年十二月龍山より移轉せし者なるが樓主奥田安次郎は短氣の性質にして武骨殊に昨年女房死亡せし以來更に實弟の死亡に續いて不幸續きらせ居る由にて殊に日曜は名同廓内の某樓主に數居る處に抱へ娼妓の古娼妓連を唆かし樓内を騷がせ居る由にて殊に日曜樓主と色情關係あり樓主は妻君を迎へしより日曜は不快に思ひ居る事とて樓主は新顏の事とて彼等より殿打せられ位なりし故に春海が先月上旬馴染所有の三味線を入質し賃期限到來せしより金に春海が先月上旬馴染の客を日午前中に樓主に申込みたるに可き旨答へしにぞ春海は渡して下さいと言ひたるに小錢なき故有合せ金四圓を渡さんとせしに春海は五圓是非必要なるが貸して與れないなら借らなくとも宜敷いですと言ひ放ちて自己の室に至り夕刻店張時間に病氣なりと稱し店に出ざるより樓主が一寸用事あると呼びたるより何の用です五圓の金を借し切れぬ意氣地なしの樓主に病氣を押して泣動むる必要なしと立ちたる儘答へたるより樓て神經過敏の奥田は生意氣なりと飛付きさま擧を固めて春海の横面を殴打負傷せしめたるなりと

精肉店の大競爭

▽肉を食うなら今の間

本町六七丁目の精肉商は大競爭を行つて居る六丁目では平岡商店と松田商店七丁目では松本、山田、深堀の三商店抑もの原因は六丁目の方のは古くから松田商店があつた處へ平岡商店が出來た爲めで七丁目の方は松本、山田の二軒があつた處へ深堀が出來た爲めだ相だ六丁目の方は兩店とも何にも貼り札めいたものは無いが七丁目の松本では開店五週年の祝として、大勉強、山田は並肉本日より八錢とある最も振つてるのは深堀で、大勉強の親玉又々メチャメチャ大安賣としたある其處で物好きにも買ひ比べて平岡と深堀とが安い樣な氣がする勿論大した相違ではない、此の競爭が果して何時まで續くかは疑問だ、諸君牛肉を食ふなら今の間だ、イヤ安いも安いも大安い、商店主達可成長く行り玉へ我々に取つてコッコーな事だからモー止め如なんて弱い音を吹く可らずと注告生なる人から投書のまゝを

●知らぬが佛の件頭殿

所は仁川支那町淸國巡捕廳を知る人は直ぐ合點がゆくであらう其の巡捕の中に張言明とか云ふ者あり同人宅に去る二月廿日頃より何となく世を忍ぶ風情の女あり年の頃は廿二三歳で東下りの滿化粧立てる姿は花に似たりと言へば大變な美人の樣なれ共實は其の反對にて……容貌は二の町……時に此の女は仁川猫島新地書樓よりすい子と名乗り數ある遊野郎を手練手管に綾なしたる中にも本町邊の去る雜貨店の番頭殿渠女ならではならぬと入れ揚げ居たるも一方すい子は何とも思はず去年の十二月奇麗氣つ張りと足を洗ひて歸國せしと番頭殿は嘆聲を洩らし居たる處へ中居候處女の方では本年二月廿日再び渡仁なし前記の張言明と奥深き部屋にて夫婦氣取にて日を送り居るとのこと先日は仁川歌舞伎座に相合傘ではなけれども互に手を携へて芝居見物と洒落——話に聞けば同女は張言明に一ケ月十圓の約にて妾に住み込みしものなりと此れが萬一も前記の番頭殿に聞へなばどんな顔するであらうと評判の儘

●寶劍泥棒

山梨縣人當時京城北部三淸洞朝鮮人宿止宿田中一治は二月二十八日初音町居住東拓社員瀧水元太郎方に忍入り大柳行李二個在中品洋服和服外數十點(代四百餘圓)及日本名刀一本を窃取したる事銅峴分署の福田刑事探知し目下同署に於て取調中

●頗る吝な横領

原籍大分縣速見郡杵築町四百九十七番地當時京城貸

四ツ手網

化物生

◎一口噺

甲『横濱の人は皆强いチ 乙『何で 甲『梅と常陸に土俵の上で手を附かせたッーナ

○

甲『君未だブラ〱して居るチー 乙『口がないからサー 甲『死人に口なしと言ふから生た君には口がありソーダ

○

女學生『妾は獨立主義ですよ 男學生『成程其の方がれ爲めで

◎三面狂歌 浮世亭

武士道の皷吹か褒の浪花節

義士物語り其名高輪

一二三味四筋琵琶彈く五本指

六七調に八雲琴彈く

金町番戸不詳前司平一郎方居河野要(三十)は昨年十二月八日龍山元町二丁目五十五番地畑中助四郎より同人が松田藥に對し家賃四十二圓九十錢の債權請求方京城區裁判所に對し仕拂命令の申請を爲し其確定を待ち假執行を爲すべき依頼を受け畑中宅に於て同時に依頼を受けたる小野寺丈之助及松田藥の兩借家證書を受取り且つ仕拂命令申請の費用及手數として三圓五十錢を受領し乍ら遂に横領費消せしが畑中よりの嚴談に堪へかね本年二月十二日自白せしのみならず尚本年一月九日畑中より同人が松田藥の四十二圓九十錢の債權を請求する爲め京城區裁判所に仕拂命令の申請を依頼せしを奇貨とし申請諸費用一圓送達料二十錢執達吏費用一日七十錢をも横領せし廉に依り横領及欺詐取財の下に龍山警察署に引致拘束さる

●浮浪者の拘留 福岡縣門司市錦町三丁目三千百一番地長田光文(三七)は一定の住所職業なく諸所を徘徊する浮浪者なるが南部署に引致され拘留七日に處せられ窃盗嫌疑にて犯罪搜査中也

●三圓年で三ヶ月 福井縣阪井郡三國町坂井港櫻谷二十八番地當時龍山本町一丁目丹後宗次(二)は二月二十七日午後十時頃尾形すゑ方に忍入り金三圓五十錢を窃取し京城區裁判所に於て懲役三ケ月に處せらる

●仁川捕鼠買上 六日百七十二頭にして金五圓十六錢なり

●演藝だより

●壽座 大入の盛況なる立志團八日の藝題は佐藤紅緑氏作『潮』全七場にして重なる配役は左の如し 阪谷東吾(稻葉)同たゝ子(淺井)同ふみ(寶井)米津雄三郎(花島)同ふみ子(藤島)和田信一(青山)野々山岩五郎(北村)桑村俊三(井上)藝妓小米(郡)

●京城座 毎夜大入氣なる兄弟義團八日の藝題は此の兄弟故題刑事の苦心一幕一幕全九幕にして重なる配役は玉置警察署長(岩村)今尾巡査(花房)寄婦はつ(堀江)たかめ吉助(吉井)銀の金藏(谷)石川刑事(塚本)川口金の助(松澤)小間使秦子(糸枝)下條新助(藤澤)後藤金左衛門(小泉)娘つゆ(東)番頭久助、中村巡査(江見)

●仁川歌舞伎座 大入大入氣なる片岡鶴之助一座の七日の替り狂言は續きもの野狐三次にして第三回目なり

仁川商店めぐり

宮町二丁目 越智商會

會主は櫻木廣吉氏愛知縣の人にして明治三十三年渡仁し雜貨商を營みしが事變に際會し遂に商況不運に陥りしより越ねて三十七年には潤圖芝宗に渡り洋煙草を販店し孜々として店運の隆盛を圖り奮闘の結果相當資財を得たるを以て明治四十年再び仁川に戻り洋煙草の販賣に努めし爲め販路忽ち擴大せしより最早店舗狹隘となり現場に移轉し更に洋菓子等をも直輸入をなし廉價に販賣しつゝあり己に氏の信用厚きは内外人の知る處となり遂般或外國二三大會社の代理店となる等益々機運到れりと云ふべし

●取消 謹啓貴社益御淸祥賀上候さて三月五日貴社發行第六四二號三面記事中洋氣男の寡婦狂と題し御掲載相成候儀につき櫻井町左官職森某とは小生之外に無之就ては該記事に關しては小生に更に關係無之候條全文を掲げ御取消相成度候也 七日 森實治 印 京城新報社御中

▲平民文壇▼

▲京龍仁の有志合同して歌留多大會を本月十二日に開催せらるゝ相ですが會場其の他を發表して下さい(歌留多狂)▲承知しました(係)▲桃山には國分孤が澤山居る中にも目立つが一樂孤二には入齢三は鶴島孤(孤好生)▲金子東海男兄よ轄居先不明にて郵便も其の旨を得ず至急本欄を拜借して知らせて下さい(鈴木舟元次郎)▲予は時々十圓か二十圓かりの郵便切手又は收入印紙を買求むるに割引する所どこかある一体何處が一番多く割引して與れるのかしら(某銀行員)▲朝鮮總督府印刷局の庶務係の方々に一寸お願ひ申します、私は御局の事務員に採用して頂きたいのですが御入用はございませんでしようか御手數ながら本欄でお知らせ下さい(同生)▲印刷局の女工に志願するのは志願書携帶の際に身元保證人が入るのですか知らせて下さい(希望生)▲仁川基督教青年會は會員百廿名に達したが實に欣喜に堪へざる譯だが初め山手町邊に小さき看版を掲げて居らんか如であつたが今回會館を市街の中樞に設立と同時に會員一時に增加し前記の數に達したとは此の上もない▲話に聞けば前記の數に達したもの三分の二は官吏▲可成的實業家の店員等を入會せしめたいと會員幹事等は勸誘して居る相な依而大奮發して店員諸子入會せられよ▲會員連中は本會趣旨に違反せん樣大々的勉强一日暇あれば時は仁川の爲め大に奮闘すべした▲入會希望の者は如何なる年老りにせよ本會の趣旨を遵守する者は入會は何時何時でも出來得る相な(せいは)

今日の運勢

●三月八日(舊二月八日)二黒、丁丑先負ひらく

△一白 ●保證引受世話事多し新事旅行婚談移轉凶業務上不振不利

△二黒 賣買及業務上機會利益を逸し疎漏失却ありとす盗難遺失を戒しむ新事旅行婚談移轉凶商議協定効無し

△三碧 徒勞に歸する日なり新事大事に不可旅行婚談貸借金談移轉凶

△四緑 金品授受證券協同組合の事故障あらん起業開店婚談旅行凶

△五黄 共同連盟婚約婚談に忌む他の行事進んで差障なし遺失横領防ぐべし

△六白 快欣の日大凡吉殊に農鑛業金屬業務及婚談兒女の事に吉

△七赤 屆入れ共同組合飼畜に忌む他は會心の日萬進んで支障なし

△八白 盛運の日大凡吉殊に轉業移轉改革整理決算解決に吉

△九紫 有利有効の日修交協約商議相談中裁に尤も吉(本町五丁目 二一館 判)

●諸公債諸株券現物賣買 迅速確實に御取扱可申候
兼業 舶製洋服御小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目 大坂野村銀七代理店
田中友吉商店
電話九三九

健胃下腹丸(けんゐかふくがん)
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八番 振替口座京城十六番

●エールリツヒ氏新梅毒注射藥到着致候御希望ノ者ハ御來院アレ
●內科小兒科 外科花柳病
●入院隨意
京城旭町三丁目 十全病院 電話七三七番

池坊生花教授
今般諸君の御便利の爲め左記の所へ出張所を設置候に付御希望の方は御申込被下度候
京城永樂町(赤門前) 一光齋秀庵
龍山驛構內 今井宅
京城新町 難波宅

◎貸金 旭町二ノ一五別府組車輓場筋向小路 高橋
有給者には極秘密に低利融通可申候

飲みすぎ食ひすぎには
ビツトル散
本舖 大阪市江戶堀 猪飼史郎 各藥店ニアリ
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八番 振替口座京城十六番

氣節既に一變せり奮起せよ同朋男女 神易に依りて吉凶を前知し開運幸福を期せよ
京城南米倉町和樂園下 一心堂

世界一のかぜ藥

全國藥店にあり
蛇印 アンチピリン丸
ねつ・はやりかぜ・づつう・りうまちすに大効あり
藥價 五戔・十戔・十五戔・廿五戔
發賣元 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舖 東京日本橋區通旅籠町 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番、一〇六八番 振替口座京城十六番

印章彫刻 ゴム印彫刻 京城本町四丁目 赤帽子號印舖
諸官衙御用達 奧野岩太郎 電話九三番

朝鮮名產 鶴乃箸
○鶴の骨細工種々
○鶴の羽細工種々
○朝鮮土產品種々
製造發賣元 京城本町三丁目 海市商會 電話二五〇 振替朝鮮四八
特約發賣元 京城本町四丁目 日之出商行 (電話九五六)
特約發賣元 京城本町六丁目 西崎本店 (電話二一〇)

優等淸酒

釀造發賣元 仁川港 吉金酒店 電話七六四番

義齒術全般
京城旭町一丁目 齋藤英壽 電話一四一四番

●京城市內の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クツ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹼香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類
正札 ㊀ 引なし
官衙、陸軍銀行、會社御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨 御小賣商

一般外科診療 鈴木外科醫院
▲病室落成▼
▲入院隨時▼
時間 每日午前八時ヨリ正午迄(每日曜及大祭日休) 月水金午後四時ヨリ六時迄
京城旭町壹丁目六十七番戶(電話六九二番)
前大韓醫院外科主任 鈴木謙之助
六百六號注射の需に應ずワツセルマン氏梅毒有無の診斷法を始む

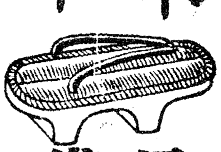
M.C.C.
土耳古 紙卷 賣
エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計御商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計御小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

ペスト豫防は鼠を捕るに限る
捕鼠器製造大販賣
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商 佐野彥藏商店 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

紙と印刷
諸紙 諸官衙御用
和洋帳簿 印刷 各種製本
播本(ハリモト)商店
京城本町六丁目 電話百拾番

統監府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
電話 四〇番 本町三 七二二番 南大門驛 九四八番 大和町 一六〇八番 同第二

東京足袋

本店 東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

浅田洋服店

京城光化門通
店主 大島專藏 (電話四百十二番)

石炭 唐津石炭各種 平壤無煙炭 三池粉炭 筑後炭各種
並に 鍛冶屋用 粉石炭
煉瓦製造廉價販賣
石灰(生石灰 フカシ石灰)製造販賣
仁川支那町一丁目(運輸部横) 八田利三郎本店 電話六十二番
龍山元町一丁目 八田石炭部
八田利三郎支店 電話五五三番

鍼灸治療
御報次第參上治療可仕候
脚氣、リウマチス、膓胃加答兒、腦病
神經痛、小兒寢小便、其他諸病一切
京城曙町(取次電話一一八七)
石川源太郎

資本金一千萬圓
積立金六百〇五萬圓
明治六年設立
株式會社 第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
電話一一番 六一二番 振替貯金口座朝鮮一二番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

特約店
米國スタンダード製松印石油
下總國野田印醬油
仁川日本醬油株式會社製印醬油
下總國万上印味淋
尾張名古屋印酢
汗浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戶株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豐後湯の花精製品(入浴用)
湯の花菓子(茶用)瓶入各種
灘銘酒櫻正宗山邑釀造
堅牢無比の國譽足袋
雜貨部 京城本町六丁目 今藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所
電話三〇八番
其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、鑵詰、千香、其他乾物類一式、瓦煉瓦、明太魚、鰊昆布、味噌、醬油

特約販賣 仁川高雄支店 京城
薄口醬油

發瘡流製烹
すゞ津祢
南山町一丁目 電話千五百二番

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

純良消毒牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話千六十九番

今般弊社構內高燥淸淨なる衞生地域をトし完全なる病畜舍及消毒室を新設し技術熟練の專門獸醫を傭聘し汎く大小動物家畜の診療に從事す
入院隨意
附屬京城家畜病院
弊場種畜牛、豚、山羊、家鷄等蕃殖致居候間隨時御來場御購求の程願上候
京城南大門外 韓國畜產株式會社 (電話八八番)

三月中 瀛船出帆廣告
キ
海州行 天草丸 十日 十四日 十八日 廿二日 廿六日 三十日
安東丸 八日 十二日 十六日 廿日 廿四日 廿八日
鎭南浦 三省丸 十四日 十六日 廿日 廿二日 廿八日
千葉丸 十日 十二日 十八日 廿四日 廿六日 三十日
群山行 千葉丸 十六日 二十一日 三省丸 十一日 廿六日
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部